



2022-2023年度
RI会長
ジェニファー・ジョーンズ
RIテーマ
IMAGINE ROTARY

国際ロータリー第 2830 地区

八戸北ロータリークラブ 会報

ガバナー ● 田中 常浩 会長 ● 佐々木 悦郎 幹事 ● 吉田 悦子 SAA ● 山内 一晃

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6 八戸プラザホテル内
TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

<https://8kitarc.com/>

例会日：毎週火曜日 12:30 開会



6月 ロータリー親睦活動月間

vol.44

第 2530 回例会 2023.6.20

12:30 ~ 八戸プラザホテル
司会：神山智子副SAA

RIテーマ
点鐘

- ・ロータリーソング
- ・クラブソング
- ・四つのテスト

記念日



小沢一雅会員

(食事)

会長要件



佐々木悦郎会長

皆さんこんにちは。今年度最後の昼例会になりました。つたない会長要件にお付き合いいただきありがとうございます。

誕生日プレゼントの際に、やはり皆さん「歳を取ってしまった…」とちょっとネガティブにお伝えしていたので、私から一つ提案です。タレントの中川翔子さんは誕生日のたびに「レベルがアップした」と言うそうです。昔のロールプレイングゲームみたいにレベルがアップすると能力や記憶力が上がったり、呪文を覚えたり、年代によってはスタミナが下がったりということもあると思うんですけども、人生これから百年時代を迎えるにあたってちょっとでも、ロータリーで皆さんと触れ合うことによってなかなか歳も取りにくくなるのではないかと、どんどん皆さんレベルアップしてまいりましょう。

ガバナー月信で田中ガバナーはDEIについて触れておりました。もっともっと各クラブで浸透させてくださいということです。八戸市の広報にこどもの国の大型遊具施設がリニューアルされるということで、ここにもDEIのI（インクルーシブ）の考えを取り入れた遊具が、令和8年までにリニューアルされるそうです。このようにロータリーだけでなく、DEIの思想が地域や会社、社会にどんどん浸

透しているんだなと思えました。このインクルーシブというのは「受け入れる、包括的」というような意味なのですが、なんでもかんでも受け入れてしまうと大変になると思います。会社だったら営利を目的とする団体ですので取捨選択する必要があると思います。ロータリーにおいても、四つのテストを軸にしっかり置いて、正しいものをできるかぎり包括的に受け入れていきたいなと思っておりました。

最後です、会長幹事会が無事に開催できまして、次の幹事クラブに引き継いでまいりました。幹事クラブをやってみて一つ心残りは、合同チャリティーコンペができなかったことで、若干予算を二万円から一万円に減らしてしまったことが心残りです。今回は地区大会の時に一緒に南グループでのコンペを開催するので、そちらの方を楽しみに参加したいなと思っております。以上、会長要件でした。ありがとうございました。

幹事報告

吉田悦子幹事



◎6月27日、夜間例会「創立総会」
18:00 ~
飲み物の提供をお願いします。

親睦委員会

田村隆直会員



ニコニコBOX
源新和彦会員：早退失礼します。
横町芳隆会員：早退失礼します。
小澤一雅会員：結婚祝いありがとうございます。
田村隆直会員：早退、すみません。
米山記念奨学金
澤口忠彦会員：
大沼 衛会員：
神山智子会員：
ポリオ・プラス
佐々木剛夫会員：

出席報告

本日の出席率 71.8%
前々回（6/6）の修正出席率 68.4%

委員会活動報告

◇研修小委員会

片野潤リーダー

(代読：大沼 衛会員)



今回私が計画していたロータリー用語の勉強会ですが、実行することなく1年が終わってしまいました。他の会員からは良い計画なので是非実行して欲しいとお言葉を頂きながらも出来ずに終わり、申し訳なく思っております。コロナ禍の状況もたいぶ緩和され、5類になったおかげで今後は活動しやすくなると思いますので、是非機会があればお願いしたいと思います。

◇奉仕プロジェクト委員会

奥寺良之委員長

(代読：佐々木悦郎会長)



職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、ロータリー財団、青少年奉仕の各委員会がコロナ感染症のために今年度も満足のいく活動が出来ませんでした。次年度は5月8日からコロナ感染症が2類から5類になりましたので、それなりの制限は付くにしてもかなり活発な活動が出来るようになると思います。

◇職業奉仕小委員会

大石 源リーダー

(代読：小林弘文会員)

私自身は活動に参加出来ませんで迷惑をおかけしましたが、代役でご協力くださいました会員の皆様方には感謝申し上げます。ありがとうございます。

◇社会奉仕小委員会

類家 順リーダー

(代読：小向隆悦会員)



今年度の活動について、外部講師による卓話は実施することができませんでした。子ども食堂への支援活動は会員の皆様のご協力をいただきまして8月、10月、12月と計3回参加させていただき、実際に現地にて活動を行うことで様々なことを経験させていただきました。

この経験を今後のクラブの活動に生かせるよう努めてまいります。1年間ありがとうございました。

◇ロータリー財団小委員会

源新育子リーダー



2022-23年度におきましても昨年度に引き続き、コロナ感染拡大の観点からロータリー活動及び例会プログラムの変更など余儀なくされる事態もありましたが、今年度佐々木会長はそこにおきましても、あらゆる可能性を模索しながらロータリー活動を牽引してくださいました。よってクラブ会員の士気が下がることなく、ロータリー財団小委員会でも、地区補助金を活用した「子ども宅食おすそ分け便」としてお米2キロを300袋、八戸あおば高等学院へお届けし、会長幹事さん含め5名で贈呈式に出席させていただきました。また4月18日には地区グローバル補助金委員長、川崎益美会員にタイの水事業について卓話をしていただきました。

地区目標である年次寄付150ドル・ポリオプラス30ドルは全会員達成しております。また7月と11月

に開催された地区ロータリー財団セミナーにも出席し、地区補助金事業の発表も佐々木会長が行いました。

反省として、今年度はIM準備のための時間をかなり要したこともあり、クラブ内での研修は全くなきませんでした。やはり地区においてもRLIなどを通してロータリー財団について深い理解が求められており、クラブでの研修の必要性を痛感いたしました。次年度に申し送りたいと思います。

◇青少年奉仕小委員会

大崎光明リーダー



コロナ禍からの回復の兆しが見え始めた年度でありましたが、具体的に直接子どもたちと触れ合う機会が十分に待てるまでに至らなかったことは残念でありました。

こうしたなか、八戸聖ウルスラ学院高等学校のインターアクトクラブメンバーによる台湾訪問が、さらに海外へ目を向けるきっかけとなり具体的に留学を検討する機会となったことなどは、本活動の役割の一端を実感できる出来事でした。

アフターコロナの新しい支援活動を構築できればと思いました。

その他

佐々木悦郎会長



ガバナー月信に「トルコ・シリア大地震支援金」について、日本のロータリアンからの支援が世界最大であったと載っておりました。地区内各クラブから1,640,865円、日本各地区から86,964,101円、地区ロータリー財団のDDFから8000ドルの寄付がありました。

会長幹事会では、31名の現会長・次期会長が集まり混合で開催しました。各クラブ、特に八戸のクラブで話がでている会場費の件で、それぞれのホテルさんと話し合った結果、メーキャップ料は変わらず2300円です。八戸グランドホテルさんは事前予約が必要です。

前回、源新和彦会員からご連絡がありました能舞台キャラバンの件で、後援依頼が南グループ9クラブから快く承認されました。鎌倉能舞台の中森さんが来週我々の夜間例会に来て下さることになりました。(鎌倉能舞台YouTube鑑賞)

八戸の公演は11月8日(水)14:00から八戸市公会堂で行われます。

蕪島清掃

小林弘文会長エレクト



7月9日(日)10:00～11:00の予定で行いたいと思います。食事の方は準備しませんが飲み物は準備します。お子さん連れでも構わないです。トングとか軍手、ごみ袋はこちらで用意します。雨天の場合はほぼ中止になると思われます。参加希望の方は出欠確認をよろしく願います。

点鐘

(誤字脱字がございましたらご容赦ください)